

福来ケ丘

令和7年度 第6号 令和7年10月21日発行

江津市立高角小学校 :校長 南口周哉

学校教育目標 豊かな心とたくましさをもち、確かな学力を身につけ続ける子どもの育成めざす子ども像 たくましくしなやかな子 かんがえて行動する子 つながる子 のびる子

IO月に入り、日中はまだ半そでで過ごすことが多いですが、過ごしやすい秋を楽しむ季節がやってきました。『○○の秋』『秋といえば△△』…みなさんは何を連想しますか?以下高角小の『秋』を少し紹介します。

スポーツの秋

IO月5日(日)、令和7年度高角小学校大運動会を開催しました。当初予定していた4日(土)は悪天候のため実施できず、I日延期しての開催となりました。当日は、個人・団体種目・応援合戦・鼓笛など精

一杯の演技を見せてくれました。特に6年生は、学校のリーダーとして自分たちの役割を果たし、運動会を成功へと導いてくれました。まさに今年のスローガンである、【全力協力スマイルで200の思い出10月4日(5日)】を体現した運動会となりました。各学年この行事で得た「がんばり、集中力、団結力」を今後の学校生活に活かしてほしいと思います。来賓の皆様・地域の皆様、温かいご声援ありがとうございました。

保護者の皆様、親子種目へのご参加、温かいご声援、閉会 式後の会場の片付けなどご協力いただきありがとうございました。









全力・協力・スマイル…高角っ子のいろんな姿を見ることができました







行楽の秋

10月16日、子どもたちが楽しみにしていた遠足があり、1.2 年生がアクアスに出かけました。あいにくの雨模様でしたが、予定を変更し外の公園でも遊ぶことができました。一番の楽しみはシロイルカのパフォーマンス。数種類のパブルリングを見た後の歓声はすごかったです。おいしいお弁当、おやつも食べ、大

満足の一日でした。







5 年生は10月16日.17日、江津少年自然の家での宿泊研修に行ってきました。1日目は雨も降り少し 心配しましたが、2日間予定通り研修を実施することができました。それぞれの活動で互いに声をかけあったり励ましあったりして活動することもできました。5年生の連帯感が一層強くなる研修となりました。









令和7年度 全国学力・学習状況調査について

令和7年度が始まってすぐの4月17日、全国学力学習状況調査(6年対象:国・算・理・意識調査)を実施しました。国から結果の提供後、実際に職員で問題を解いた時の気づきや子どもたちの解答状況を基に、具体的な取組を職員で共通理解しました。6年生がどういう結果(平均と比較)だったか、これを知ることも大切ですが、それよりもその結果をもとに、子どもたちにどういう力が必要なのか、どういう授業をしていくべきか、それを知る機会としてこの調査をとらえることが重要だと考えています。これまでの取組に加え、引き続き子どもたちの力を伸ばしていきたいと思います。

① 全国・島根県の平均正答率との比較

【国語】【算数】・・・県の平均と同程度だったが、全国よりは下回った。

【理科】・・・全国・県平均を下回った。

② 各教科の成果●と課題▲(特に顕著なもの)

【国語】

- ●学年別漢字配当表に示されている漢字を書く問題の正答率は高かった。
- ●事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、要旨を把握する問題の正答率は高かった。
- ▲目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見つける問題の正答率は 低かった。
- ▲時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づく問題の正答率が低かった。

【算数】

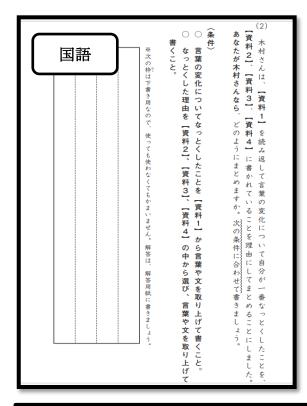
- ●異分母の分数の加法の計算をする問題の正答率が高かった。
- ●棒グラフの項目間の問題を読み取る問題の正答率が高った。

- ▲はかりの目盛りを読む問題の正答率が低かった。
- ▲数直線上での I の目盛りに着目し、分数を単位分量にいくつ分としてとらえる問題の正答率が低かった。

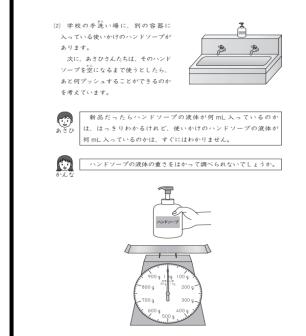
【理科】

- ●電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻き数によって変わることの知識を問う問題の正答率が高かった。
- ●水の蒸発について、温度によって水の状態が変化することをもとに、理解しているかを問う問題の正答率が高かった。
- ▲顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能を問う問題の正答率が低かった。
- ▲レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点をもとに、新たな問題を見出し表現する ことを問う問題の正答率が低かった。

<子どもたちが苦戦した問題です>







このハンドソープの液体と容器を合わせた重さは 270 g でした。 使いかけのハンドソープが空になるまでにあと何プッシュすることができるのかを知るためには、 270 g の他に何がわかればよいですか。 下の ア から エ までの中から2つ選んで、その記号を書きましょう。 また、その 2 つと 270 g を使って、あと何プッシュすることができる のか、その求め方を式や言葉を使って書きましょう。

ア 新品のハンドソープの重さ 360 g

イ ハンドソープの容器の重さ 60 g

ウ | ブッシュ分のハンドソープの液体の重さ 3 g

エ かんなさんが | 日に手を洗う回数の平均 7回

算数

- ③ 意識調査(●:肯定的な回答の割合が高かった項目 ▲:回答に課題が見られた項目)
 - ●地域の大人に授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか。
 - ●困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。
 - ▲学校の授業以外に、普段 | 日どれくらいの時間、勉強をしますか。(| 時間以上の割合が低い)
 - ▲学校の授業以外に、普段 | 日どれぐらいの時間、読書をしますか。(全くしない割合が高い)

<今後の指導について>

今回の調査を通して、子どもたちのがんばり、学校の取組(TT や少人数指導)に一定の成果が見られた一方で、課題もいくつか分かりました。国語・算数・理科に共通して挙げられた課題は、

◇たくさんの問題文をしっかり読み、何を答えなければいけないなのか読み取ること

◇自分の言葉で文章を書いて答えること

の2点です。自分の持っている知識を駆使して文章で答えたり、図や表などの資料を基に自分の考えを 文章に表したり、問題を読んで立てた式の意味を自分の言葉で文章にしたりする・・・そういう経験を授 業の中で意図的に設定し、力をつけていきたいと考えています。また、各学年で押さえるべき内容をしっ かり押さえておくこと。時には子どもたちに体験させ、実感を伴う理解に結び付けていくこと等も職員間 で共通理解をしました。

子どもたちの学力向上には、学校での取組が重要であることは十分承知していますが、ご家庭でも家庭学習への声掛けや支援をしていただきながら、学校・家庭が一体となって取組を進めることも大切だと考えております。一層のご協力をお願いいたします。

※「令和7年度全国学力調査問題」と検索していただくと問題を確認することができます。また、江津市でも概要をホームページを通して公表しています。





| 10・| | 月の主な行事予定

22	水	読み聞かせ(ほんわか会)	9	日	和木文化祭 嘉久志文化祭
24	金	就学時健診(1~4年:13:10下校	11	火	スクールカウンセラー来校
		5.6年:14:10下校)			特別支援学級合同学習会(自然の家)
					メディアコントロール週間(16日まで)
25	土	和木地区祭り	13	木	食の学習(5年生)
26	日	嘉久志子ども相撲大会	19	水	読み聞かせ(ほんわか会)
					学習発表会予行練習
28	火	スクールカウンセラー来校	20	木	学習発表会準備(1~5年5時間授業)
30	木	幼少連携研修会(高角小会場)	21	金	学習発表会(給食なし11:30下校)
11/5	水	読み聞かせ(ほんわか会)	26	水	クラブ
		遠足(3.4年:自然の家)			保育所交流(5年)
6	木	音楽会壮行演奏会(6年)	27	木	スクールカウンセラー来校
7	金	江津市小・中音楽会	29	土	芋代官祭り(4年生参加)
8	土	嘉久志文化祭 和木文化祭			